

3学年通信

Practice Makes Perfect

担当：富田

☆最上級生としての誇りを・・・

最上級生となった。晴れやかな気分の者もいると思うが、全員が進級できたわけではない。非常に残念な出来事であるが、人生の厳しさの一端ともいえる。

「駄目なものは駄目」という原則が、高等学校にはある。小中学校とは異なる厳しさがある。だからこそ全日制高校の卒業証書は尊い。

承知してくれているとは思いますが、令和3年度3学年団の目標は全員卒業ではない。全員が希望の進路を進むことだ。この1年が充実したものとなるよう、全力を出し切ろう！一日一日を大切に生活しよう。

その一方で、最上級生としての責任も感じてほしい。下級生の模範となることも使命だ。君たちの姿を起点として将来の三河高校が作られていく。

第3学年をはじめ、本校の先生方は、君たちを全力でサポートする！不変の誓いだ。今年度3学年団所属の先生方からのメッセージが君たちに響くことを切に願う。(敬称略)

富田幸一(学年主任)保健体育：人生の表舞台は常に将来にあり。明日という日は、今日準備をする人のものである。

織田信之(学年副主任)商業：この一年で、社会人生活45年のスタート位置が決まります。常にポールポジションを目指そう。

武藤龍一郎(S3A 担任)英語：他人に自慢でき、認められ、自分が誇りに思えるものを培うために、残り1年真剣に自分の人生に向き合おう。

杉浦俊樹(S3B 担任)理科：高校3年間の集大成の年です。有終の美を飾れるよう努力を重ねましょう。

小林徳子(S3B 副担任)英語：今年の頑張りで今後の人生が変わるかもしれません。ルールの中で楽しみながらも、本気の一年を過ごそう。

阪東雄一郎(S3C 担任)国語：マイナスな言葉を吐く必要ありません。プラスな言葉で目標を叶えられるよう日々過ごしてください。

木村元彦(S3C 副担任)理科：「己の道は己で決める。」悔いのない進路選択をするために充実した日々を『健康第一』で送ろう！

新海彩(G3D 担任)保健体育：何事も他人のせいにはしないように、自分でやろう、自分がやろう。

木下史記(E3A 担任)電気：卒業まで残り1年となりました。三河高校の生徒としての自覚を持って行動しましょう。

流郷昌輝(E3B 担任)電気：日々の行動が良くも悪くも進路に直結していく。自分のやるべき事を考え、行動しましょう。

井上成人(E3C 担任)数学：努力している者すべてが成功するわけではないが、成功する者は必ず努力している。

自分の望む将来を獲得するための努力を惜しまないようにしてください。

大久保成憲(E3D 担任)電気：自分の進路は自分自身で決めましょう。資格検定試験への挑戦もラストスパートで頑張りましょう。

外山恭平(E3D 副担任)電気：覚悟を決めて、より成熟した考え方を身につけましょう。今、一瞬を丁寧に過ごしてください。

伊藤大(C3A 担任)商業：あと一年、どう過ごすか。結果を想像して行動しましょう。

堀洋嘉(C3B 担任)美術：一所懸命。よろしくお願いします。

奥村洋一(C3C 担任)家庭：自身の置かれている状況をしっかりと見渡して、楽を選ばずに未来を観ながら行動することを心掛けましょう。

樹神睦明(C3D 担任)商業：覚悟を持って過ごす一年。卒業後活躍するための準備期間として、全力を出し切る習慣を身につけよう。

国澤誠郎(学年付)地歴・公民:諦めたらそこで試合終了です。夢に向かって、頑張ろう。

坂本光弘(学年付)地歴・公民:思い出の残る高校生活と希望する進路に向けて何事にも積極的にチャレンジしましょう。

永井秀樹(就職)商業:高校生活も残り1年。最上級生としての自覚を持ち、満足のいく進路選択をしよう。

☆4月（卯月）の行事予定・月訓『高校生としての自覚』

1	木		16	金	平常授業開始
2	金		17	土	
3	土		18	日	情報処理技術者試験
4	日		19	月	3年朝礼 面接スタンプラリー開始
5	月		20	火	
6	火		21	水	実力診断テスト
7	水		22	木	就職模試
8	木	入学式	23	金	前期生徒会役員立候補締切
9	金	始業式・対面式・身だしなみ指導	24	土	受験対策講座
10	土		25	日	
11	日		26	月	全校朝礼
12	月	課題試験 前期生徒会役員立候補受付	27	火	常任委員会
13	火		28	水	
14	水		29	祝	昭和の日
15	木	進路希望調査回収 就職模試	30	金	

☆コラム『吾以外皆吾師』

小説「宮本武蔵」で有名な作家の吉川英治の言葉だ。この言葉を初めて聞いたのは高校生の時だと思う。

著名な武道家の自伝に収められていたものだ。件の武道家の愛読書が吉川英治著の「宮本武蔵」で、その自伝にこの言葉が触れられていたのだ。当時、君たちと同じ高校生であった私は、なんとなく「含蓄のある言葉だな」と思った程度であった。

三河高校に赴任する前は、商業課程のみの高等専修学校で勤務していた。校長先生が商業の先生で、集会では「簿記」をはじめ、商業に関する話がしばしばあった。検定・資格にも積極的に挑戦するのは、本校と同じ。そんな中、クラスの生徒が日商簿記検定3級に挑戦することになった。

私は、「頑張って合格しなさい」と励ましたが、「先生も一緒に受けよう！」と煽られ、行きがかり上自分も受験する羽目となった。

私は普通科高校出身で、大学は体育学部。簿記のボの字も知らない。補習は、ほぼプリント学習で、わからない所を担当教員に質問、添削を受けるスタイルだ。生徒たちには担当教員がいるが、私にはいない。結局私の「先生」は、私を不慣れな簿記検定に誘い込んだ「彼」になった。

「彼」と学習を進める中で、高校時代に知った冒頭の一節が頭に浮かんでいた。知らないことがわかっていく過程はとても楽しいものである。久々の感覚だった。そうして結果は、二人とも無事に「第80回（！）日本商工会議所簿記検定3級」に合格することができた。やれやれである。

そういえば、前任校の学習五訓に「謙虚に学ぶ心を持て！」っていうのがあったな～～～。

～～～ Team Blue3 Manager ～～～